

## 【水彩画クラブ27】卒業後6年目の活動 2018年7月

### ◇第120回活動:2018年7月9日(月) 午後1時から ヌエック207室

8月の活動は1回とし、例年の通り他の日に「暑気払い」を設定する。

神代さんが8月のカレンダー(A5サイズ)を作って来られ、出席会員に「都合の悪い日に×印を付けてと言って配った。結果的に月～金では全ての日が「2人以上都合悪い」との結果だった。その為、「それじゃ日曜日にしよう」と決を採った。結果、『8月19日日曜日の夕方4時半頃から』ということになった。次回(22日(日))の活動終了後に東松山に寄り、予定の『満ツ乃』(0493-22-0072)を訪ねて予約する予定。

各自が仕上げてきた『塩沢湖畔の洋館-2』作品を黒板に並べ、内ちゃん先生の画評を聞いた。

今日の活動と次回(22日)活動で、第6回美術展への出展へ向けて『自分の風景』を描いていく。

各自『自分の風景』を黒板に公開した。木々の中の三重塔、山門と金堂、インド秘境山間の寺院、福岡にあるスペースシャトルのある公園風景、木にとまる小鳥たち等々が並べられ、先生から夫々助言が述べられた。

『自分の風景』を各自A4やA3判でコピーして課題としているので、F判水彩紙の縦横比率に合わせて課題写真の横寸を調整すること。自分の課題『甲斐八ヶ岳高原から臨む富士山』をA3サイズに拡大して、A4サイズ縦2枚に印刷。重なり合う線で張り合わせて1枚の写真にした。水張りしたF8ウォーターフォード水彩紙の内寸は縦373×横443mmで横が縦の1.1877だった。課題写真の縦寸が276mmだったので、縦横比1.1877を乗じて横寸を328mmとして左端を8mm程カットした。

描いていくときに留意することは、2「濃い目にハッキリと描く」：2「淡く、少しボカして描く」：6「丁寧に仕上げていく」の2：2：6の比率を意識して描いていくこと。

A4サイズの写真をF判の縦横比率で切り取って手本をつくり、水張りしたF8水彩紙にデッサンした。

- ① 富士山に掛かっている白い雲に、平筆で水を塗ってから雲の周囲部分にマスキングする。
- ② 下方の森林で、先端に白く見える点々にマスキング筆先でチョンチョンとマスキングする。
- ③ 山脈右側の盆地に見える白く見える所に、マスキング筆で課題を見ながらマスキングする。ここまでを自宅で準備してきた。

#### 1. 森林奥の青い山脈を淡く塗っていく。

- ① マンガニーズブルーノーバにインダンスレンブルーを少し混色し、水溶きしておく。
- ② 山脈部分に6号筆などで山の形に水を塗っていく。余分な水分はティッシュをあてて拭き取っておく。

つくった青色を筆に取り、サーツ山の形を見ながら薄めに塗っていく。

#### 2. ドライヤーで乾かしてから、富士山を塗っていく。

前項1でつくった青い色をもっと薄めにして、富士山頂から下方へと淡くサーツ塗っていく。

#### 3. 下方の森林にドライブラシ技法をつかって緑色を擦るようにおいていき、直ぐに水筆で周囲に散らしていく。

- ① 緑色をつくる。
  - a) 緑色をつくる インダンスレンブルーを黄色を混色する。
  - b) 黄緑色をつくる フーカスグリーン+黄色を混色する。
- ② bの黄緑色を小筆に取って、点々と白く見える部分に擦るようにおいていき、水筆で周囲にぼかしていく。
- ③ その他の木々にはaの緑色を成るべく淡いめに塗ってから、水筆で周囲にぼかしていく。

※ 今日の活動はここで終わった。 次回の活動で仕上げるので各自ある程度まで描いてくること。

#### ◇ 内ちゃん先生からのアドバイス

- ① 富士山にかかる白い雲はマスキングせずに、空や富士山を塗ってから丸めたティッシュで叩くように雲の形に色を吸い取っていく。雲の下方ではブラシなどで擦るように、ぼかすように表現していく。

② 下方の森林では、白く見える点々にマスクングしすぎ感があるので、少なめにしてマスクングしてから黄緑色を薄めに色を塗ってから、点々をダブルマスクングする。

③ 下方の森林では杉などの幹も描き入れよう。暗く見えるところは暗い緑色で塗ってメリハリをつけよう。

4. 次回（7月22日(日)）は『自分の風景』を仕上げていく。

#### ◆第121回活動:2018年7月22日(日) 午後1時から ヌエック本館 試食室

関矢さんから「歩けるようになったので、明日ヌエックのレストランで11時30分に待ち合わせしよう」とのメールが土曜日に入った。そして当日、ヌエック玄関前に奥さん運転の車で関矢さんが見えた。

テーブルに着いて早々に「図書館展示室使用料の立替え金23,730円」を渡した。腰を曲げたり捻ったりしないように、胴体をサポーターで保護している。食欲は旺盛のようで、痩せてはいない。時々診察に病院へ行っている。入院治療を提案したが医師から「自宅で安静にして、頑張るように」と言われたとのこと。

1時からの活動始めに部屋に来て状況を皆にお話しして、皆の制作中作品を見て1時半過ぎに帰られた。

前回活動で決めた8月19日(日)の暑気払い宴、今日10時頃に東松山市の『満ツ乃』を訪れて予約した。時間は5時から2時間。費用は3,500円見当で飲み物別。

今日お休みされた神代さんが途中顔を見せた。皆の制作中作品を見ながら最後までいてくれた。配られた次回からの課題写真（A3判2枚）を、関矢さんと神代さんに手渡した。

『自分の風景』の仕上げに入る前に、次回から習作する課題写真が配られた。課題名は『森林公園の水辺』とします。A3判2枚の写真で、黒印がついている所で張り合わせて手本台をつくり、水張りしたF8ウォーターフォード水彩紙にデッサンする。

① 中程上部にある緑の葉っぱ、一番手前にある葉っぱをマスクングする。

葉っぱの形ではなく、適当で良い。

② 葉群の所々見えるに空の透き間に、マスクング筆先でチョンチョンとマスクングする。

8月の27日と、9月2回の計3回の活動で描いていく。

『自分の風景』を描いていく上で留意する点について、指導を受けた。

自分の風景写真を見て、どの部分をポイント（主役）にするかを見極めて、そのポイントを所定の位置に置いてトリミングして課題写真にします。

デッサンしてからの描いていく順序は、

1. 最初のマスクング 白く見える部分や、一番表面の部分にマスクングを施す。
2. 明るい色 明るい色で描いていく
3. 次の色 次の色で描いていく（2の色より少し濃い目か暗めの色）
4. 足りない色 課題手本を見ながら、2と3以外の色を使って描いていく。
5. ポイント 主役の部分 ハッキリと濃い目に描いていく

各自『自分の風景』の仕上げに没頭していった。前回活動を休まれた佐久間さんは『袋田の滝』をF10の水彩紙にほぼ仕上げられていた。各自仕上げ寸前まで自宅で描きあげてきた。個々に内ちゃん先生に描き方や色のつくり方などを教えてもらいながら仕上げていった。

次回（8月27日(月)）の活動予定

課題写真『森林公園の水辺』を描いていきます。